

北上市立大学設置の検討に関する市民アンケート調査

結果報告書

令和7年1月

北上市議会

1 調査の目的

北上市では、令和３年度の庁内研究を皮切りに、地域産業をけん引する人材の育成・確保や若年層の流出抑制、まちのにぎわい創出など、まちづくりのさまざまな側面から、市立大学の設置を検討しています。令和５年度には高校生の進路希望や企業の人材需要など、基本構想の基となる大学設置に関する基本調査を行い、現時点においては大学を設置するにあたり大きな課題はないという認識のもと大学設置基本構想を策定中であり、令和７年３月に公表する予定です。

北上市議会広報委員会では、現段階で市民の皆様が市立大学設置についてどのような考えを持っているかをお聞きし、今後の議会活動に生かすために、本アンケート調査を実施しました。

2 調査の方法

- | | |
|----------|----------------------------|
| (1) 調査方法 | 選択式、書面及びWeb回答 |
| (2) 調査期間 | 令和６年１１月７日（木）～令和６年１２月１６日（月） |
| (3) 調査票 | 巻末に掲載 |

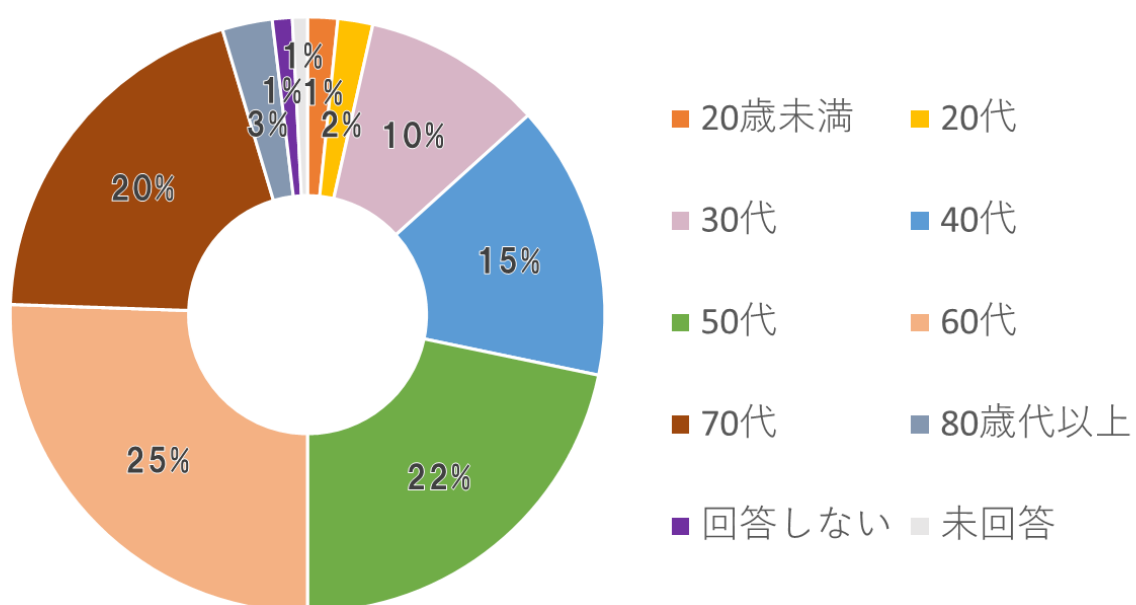
3 回答の状況

回答件数	368 件
------	-------

4 集計結果

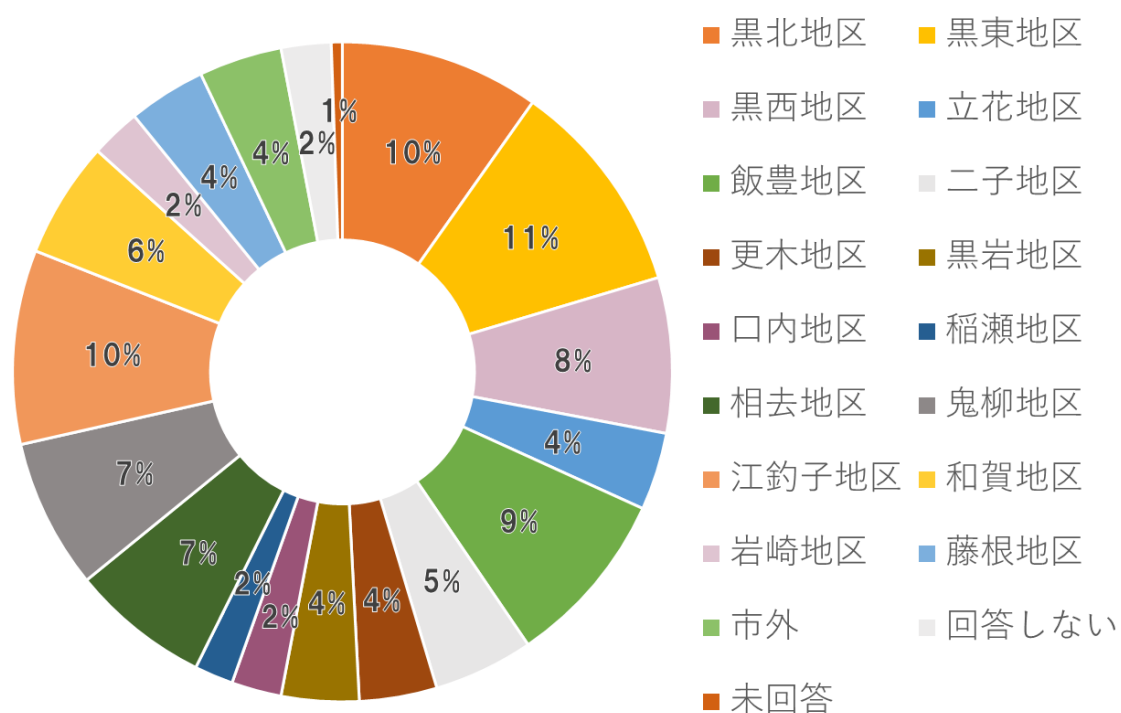
(1) 年代

回答	人数（人）	割合
20 歳未満	6	1.6%
20 代	7	1.9%
30 代	36	9.8%
40 代	55	14.9%
50 代	80	21.7%
60 代	94	25.5%
70 代	73	19.8%
80 歳以上	10	2.7%
回答しない	4	1.1%
未回答	3	0.8%



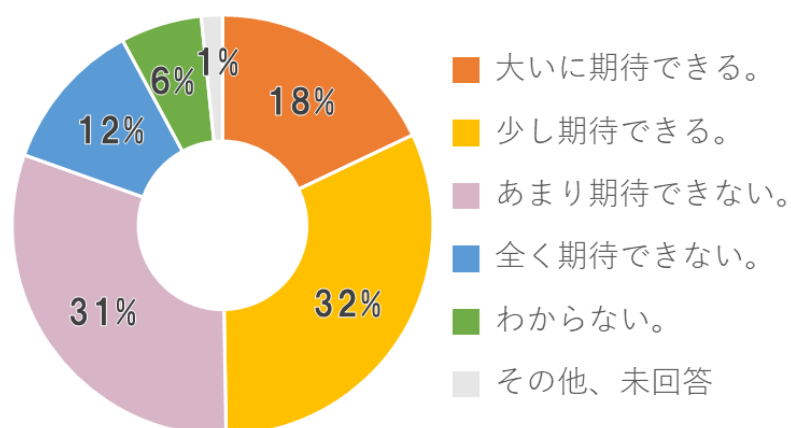
(2) お住まいの地区

回答	人数（人）	割合
黒北地区	36	9.8%
黒東地区	39	10.6%
黒西地区	28	7.6%
立花地区	14	3.8%
飯豊地区	32	8.7%
二子地区	18	4.9%
更木地区	14	3.8%
黒岩地区	14	3.8%
口内地区	9	2.4%
稲瀬地区	7	1.9%
相去地区	25	6.8%
鬼柳地区	27	7.3%
江釣子地区	35	9.5%
和賀地区	21	5.7%
岩崎地区	9	2.4%
藤根地区	14	3.8%
市外	15	4.1%
回答しない	9	2.4%
未回答	2	0.5%



(3) 当市に大学を設置する場合、高度人材育成及び確保への効果は期待できると思いますか。

回答	人数（人）	割合
大いに期待できる。	66	17.9%
少し期待できる。	117	31.8%
あまり期待できない。	113	30.7%
全く期待できない。	43	11.7%
わからない。	23	6.3%
その他、未回答	6	1.6%

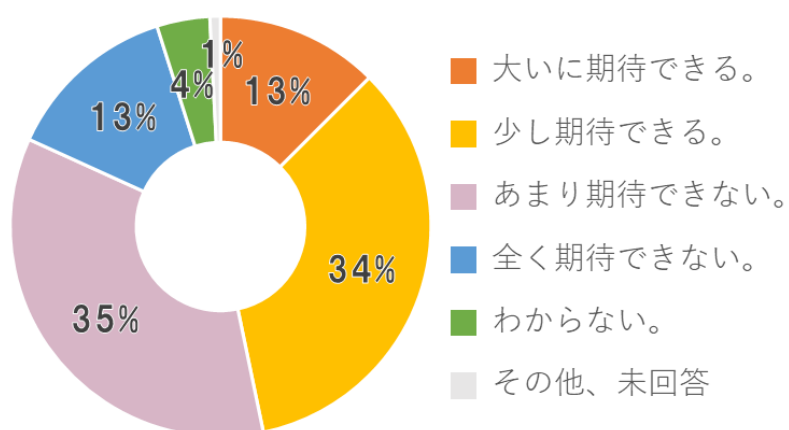


「その他」の回答

- ・ 高度人材育成については大いに期待できるが、人材の確保については努力次第
- ・ 器だけでは期待できない。教育内容、学習支援力、スタッフの役割次第かと。また入学生の学力次第かとも思う。学力不足でも高度な人材に育成するシステムを構築できるなら、期待できる。
- ・ 大学が出来たから高度人材育成が出来るかとの話しは別物で、何でも学ぶ側の意識と向上心の問題であり出来た大学に入る個人の志が一番であると感じます。その育成を行う過程としての場を作るという意味で大学設置は期待出来ると思います。
- ・ 大学の分野による
- ・ 奨学金は使わず、無償か割安でお願いしたい少子化や人口減少の原因は貧困から来るものと考えます

(4) 当市に大学を設置する場合、若年層の市外への流出抑制及び市内への流入増加は期待できると思いますか。

回答	人数（人）	割合
大いに期待できる。	46	12.5%
少し期待できる。	126	34.2%
あまり期待できない。	129	35.1%
全く期待できない。	49	13.3%
わからない。	15	4.1%
その他、未回答	3	0.8%

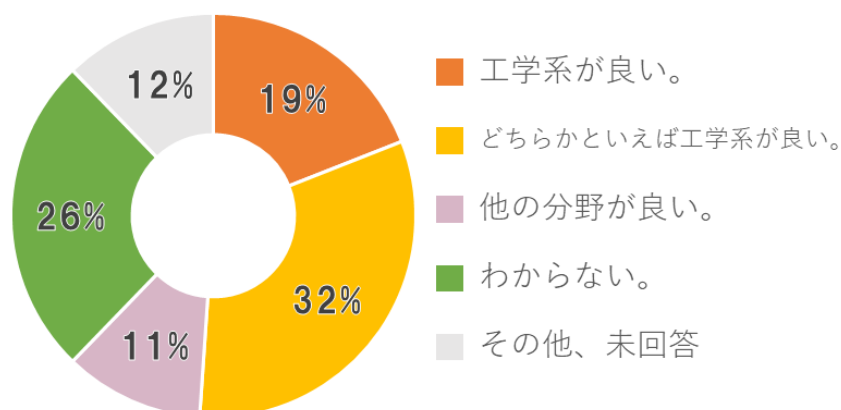


「その他」の回答

- ・若年層の大半がここに入るわけではないし、流入したとしても卒業後どうなのかが大事
- ・設置する学科の同系統に進学したい人のうちの一部にしか抑制効果は期待できない。定員を満たすための努力が効すれば流入は期待できるのではないか。
- ・流入は期待出来る

(5) 当市に大学を設置する場合、市では工学系の分野を検討していますが、どのように思いますか。

回答	人数（人）	割合
工学系が良い。	70	19.0%
どちらかといえば工学系が良い。	118	32.1%
他の分野が良い。	41	11.1%
わからない。	94	25.5%
その他、未回答	45	12.2%



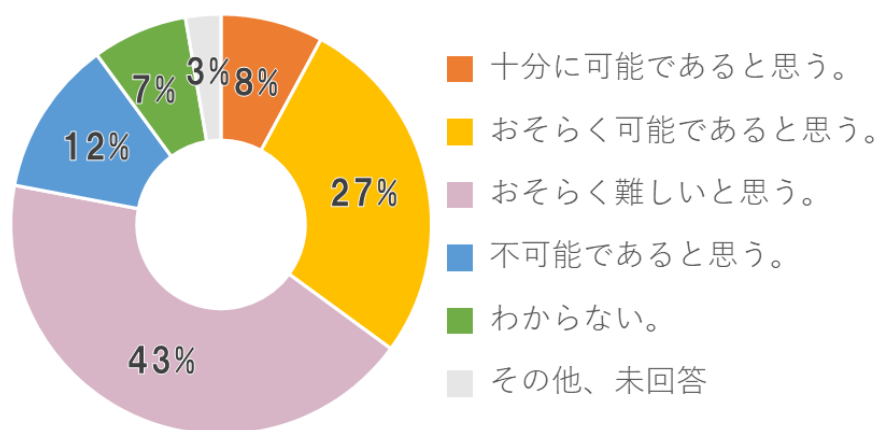
「その他」の回答

- ・ 必要ない。
- ・ 他の分野もほしい
- ・ 何系にしても、人が集まらないのでは？
- ・ 他大学で育成
- ・ もし設置するなら、アニメの専門学校など他にないものを考えた方がよい（世界的に通用する技術）
- ・ 事業として成り立つ内容が良いと思います。
- ・ 工学系が良い、他の分野が良い
- ・ 工業系だけでなく、農業系、まちづくり系など選択肢の幅はあったほうが良いとおもう。
- ・ 工学系プラス農業分野
- ・ 不用です。
- ・ 機械科学、生産科学、情報科学、
- ・ 北上コンピュータアカデミーと連携が図れる学部。日本現代詩歌文学館を連携が図れる学部。
- ・ 工学系のみにこだわらないでいいと思います。
- ・ 工学のみにこだわらない。経営とかあってもと思う。
- ・ 工学系と農学系
- ・ 大学の必要性がまだ理解出来ない

- ・多様な分野の人材がいることが北上市にとって良いこと。
- ・工学系も良いが他の分野も欲しいと思う。
- ・工学系と情報系の組合せをメインとして文化系も必要
- ・工学系で良いと思うが、工学系でも幅が広い。また他の分野の中にも工学系があるので、学科の構成の仕方が不明ではなんとも。
- ・大学ではなく アニメスクール 北上から世界に発信する素材は無限
- ・そもそも大学はいらない。税金の無駄遣い。
- ・学生の確保が困難と思われるので、不必要である。
- ・文系、理系どちらもあれば良い
- ・いない
- ・工学系他分野との両立。
- ・来たる未来に必要な分野の人材育成なら、工学系以外にも必要であるのではないか。
- ・必要なし。古い小学校や中学校の改修や整備や部活備品(スポーツ用品や吹奏楽楽器)など小中を大事にしてほしいので必要なし
- ・分野というよりは、質の問題だと思う。
- ・なぜ工学なのかの理由をしらないので一長一短に工学系が良い悪いとは言えない
- ・大学設置自体、反対です
- ・工学系のほか、文系や芸術系も
- ・工業はもちろんですが、広大な農地や山を所有している岩手、北上なので、地域を活かせる方法を研究、学習し、豊かな岩手をつくるための学部がいいと思います。
- ・これから必要な人材は、工学単独の知識を有するものではなく、様々な分野を網羅した複合人材である。工業系単科大学ではその育成を期待できない
- ・そもそも大学はいらない。工業は黒工で学べる。
- ・大学自体要らない
- ・リサーチの上で学部は決定すべきかと思います。学んでいく、これから育成していかなければいけない「若者」の意見、意向を取り入れるべき。魅力の無い学部の大学に人は集まらない。いかに若者のニーズに応えた魅力のある大学を作り上げるかが肝ではないかと。北上市が工業の街だから工学で。みたいな安易な気持ちで学部を決めている様に感じます。
- ・不必要
- ・そもそも市立大学は要らない
- ・必要ない
- ・工学系だけでなく農業・林業にも力を入れてはどうか。

(6) 当市に大学を設置する場合、学生の確保は可能だと思いますか。

回答	人数（人）	割合
十分に可能であると思う。	29	7.9%
おそらく可能であると思う。	100	27.2%
おそらく難しいと思う。	158	42.9%
不可能であると思う。	44	12.0%
わからない。	27	7.3%
その他、未回答	10	2.7%

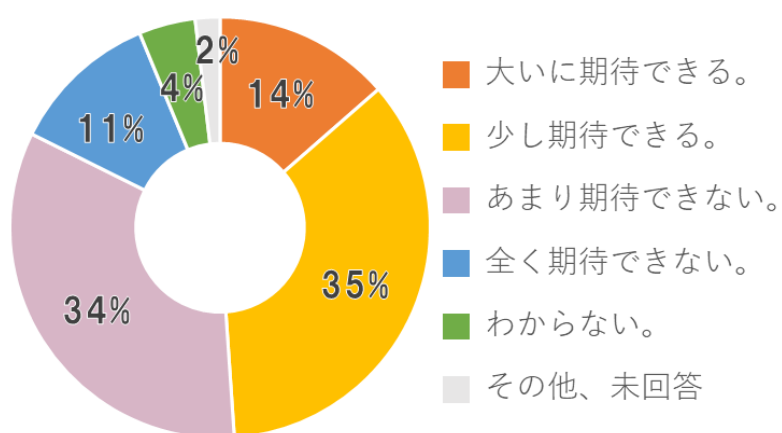


「その他」の回答

- ・やり方次第と思います。
- ・不可能ではないと思うが、具体的な大学の規模、学科が示されていないし、受験生確保のための活動も示されていない段階ではなんとも。何もしないのであれば、定員割れは確実かと思う。
- ・学部がいかに魅力的であるかだと思う。
- ・不可能であると思う。少子化が進む中、継続して確保出来るか疑問。
- ・根本的に現在も少子化の問題、奨学金問題と課題が山積されている状態です。余程魅力のある大学を作り上げない限り、この小さな北上市にある大学とあれば学生の確保は難しいのかと感じます。
- ・規模にも寄るが教授や講師の質、内容が良く充実した大学であれば確保は可能だと思う
- ・1 学年 20 人と相当少ないのでこれくらいは可能
- ・分野による工学なら難しいと思う

(7) 大学設置による経済的波及効果は期待できると思いますか。

回答	人数	割合
大いに期待できる。	50	13.6%
少し期待できる。	130	35.3%
あまり期待できない。	123	33.4%
全く期待できない。	42	11.4%
わからない。	16	4.3%
その他、未回答	7	1.9%

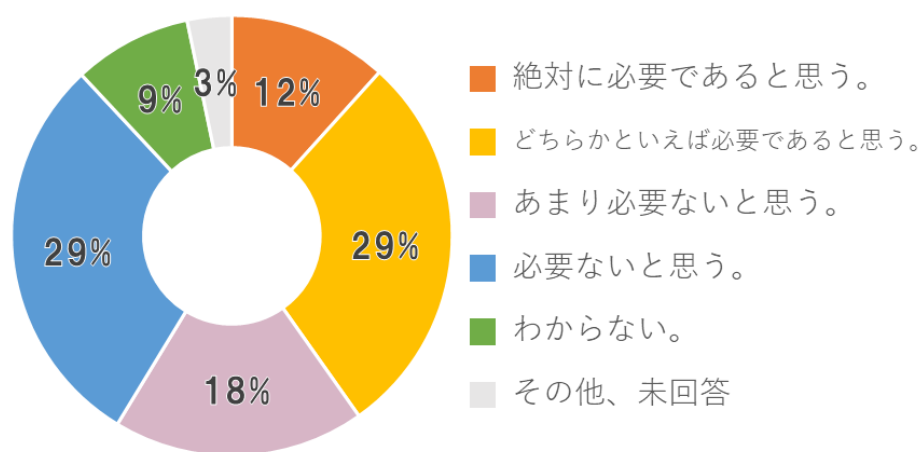


「その他」の回答

- ・一時的には波及効果はあるでしょうが、それが持続するのか、また期待する波及効果の内容が分からないで、なんとも。
- ・工学なら期待できない。

(8) 北上市への大学設置は必要であると思いますか。

回答	人数（人）	割合
絶対に必要であると思う。	43	11.7%
どちらかといえば必要であると思う。	105	28.5%
あまり必要ないと思う。	68	18.5%
必要ないと思う。	108	29.3%
わからない。	32	8.7%
その他、未回答	12	3.3%



「その他」の回答

- ・ 財政への影響を数値化し明確な説明が必要
- ・ 近い将来学生の確保ができるか分からない
- ・ 方針次第
- ・ 質問の意図が透けて見えるので、答える必要性を感じないです。
- ・ ないに越したことはない。
- ・ 「必要か」と問われれば、なんとも、ですが、「あった方が良いか」という意味なら、絶対あった方が良く考えます。ただ、どこにでもあるような大学なら、別に無くてもよいかなと、思う。
- ・ 工学系だけの大学であれば、必ずしも必要ではないと思う。
- ・ 未来を担う年代の子達への選択肢の1つが増えるのは非常にいい事だと思います。
- ・ 質、内容の良い充実した市大であれば必要だと思う
- ・ 分野による

(9) 自由記載

大学は設置できて生徒も確保できると思いますが、生徒の学力がともなった人が確保できるか疑問です。岩手大学や県立大学との生徒の奪い合いで、こぼれた人が残って入学するようでは、質のいい生徒が確保できないのではと思います。また、教授の確保ができるのかも心配です。優秀な先生がいれば、生徒も集まるので、先生の確保も重要です。黒沢尻北高校の生徒のアンケートでは、必要ないが多かったと記憶していますが、設置ありきが先にならないように慎重に審議してほしい。生徒の数だけなら集まるかもしれないが、地域の企業が必要とする力量を持った生徒を送り出せるかが、疑問です。大学を設置するなら、優秀な先生がいて、生徒の質を更にパワーアップしてくれるような先生の確保が最優先ではないと考えます。
設置の際の財政検討はしているが、設立後数十年にわたり施設や大学運営を維持していくための財政分析が乏しく、近い将来の市税負担が見通せないまま設置を急ぐことは危険。輝かしい表舞台だけをめざし、後世の住民に借金を背負わせる事は絶対に避けるべきと考える。
子どもの数も少なく、既存の大学でも生き残りに必死の中で、新設大学は現実的ではないと思います
1,運営費の捻出が困難と思われる。 県立大学の場合は、学生からの授業料や入学金は教育費に充当し、人件費 30 数億円は県の一般会計からの繰り出しで運営している。国からは学部によっても単価が違うが交付税として入ってくるが、5～6 割程度だという。北上市は不交付団体も予想される中で国の交付税はアテに出来ないと考えなければならない。大学の運営費を何十年も負担出来るような財政規模ではないと思う。大学運営費が大丈夫と言うなら、幼保小中の教育環境を充実してほしい。老朽化している文化体育施設の長寿命化にも取り組んでほしい。道路環境も改善してほしいと思う。 2,大学卒業後に北上市内に定着する確約が無い。 県立大学ソフトウェア学部の県内就職率は 20 数%であり、県内の他大学も 50%にならない。キオクシアが求めるような人材育成をしたとしても、全員受け入れられるはずもなく、投資に見合う効果も期待出来ないと思う。
学費の無償化が可能か検討して下さい。地元工業系企業から人材確保が今後必要になるカリサーチしてみても、また学費負担を国に要請して行くのも手かもしれません。少子化の原因は奨学金制度がひとつと考えます。
予算を組んでやるとありますが 予算はあるのでしょうか？今まで色々 夏油高原の開発とか駅前ビルとかさくらのとかで失敗してるので やめてほしい
11 月 8 日の岩手日報、日報論壇を読みました。 全く、そのとおりだと思いました。 市は、前のめりになっていると感じます。 失敗した場合、誰が責任を取るのでしょうか？ 計画をしている方々は、退職するのでお咎め無しになるのでしょうか。 お金は、もっと市民のために使って頂きたい。
北上市には工学系の大学もいいのかもしれないが、音楽とか芸術系もあったらいいと思う。 また農業とか食べ物に係るものもいいかと思う。 理由は、魅力的な街とは、工業が盛んで経済が安定することも大事だが、文化があったり、美味しいもの、美味しい店がたくさんあるところだと思うからだ。 北上市の小学校や中学校は合唱や吹奏楽をとて熱心に頑張っている。他の文化に触れやすいという点では、都会のほうが芸術の大学にあっているという意見もあるが、豊かな自然の中で、芸術を学び、創り出すというのも新たな視点だと思う。私の娘はピアノで大学行くのを目指してたこともあるが、 都会はゴミゴミしていて、自分と向き合う学びには、田舎のほうがいいのではと思っていた。北上市に音楽や芸術を学べる場所があったら、素晴らしいのになと思ってた。 宮沢賢治さんは、農業や音楽や文学を学ぶことの素晴らしさを今なお伝えておられるので、その教えを活用したらいいと思う。総合的に豊かな田舎の暮らしを提案出来る大学を希望したい。
莫大な税金使って自己満足の箱作るのやめて欲しいです

北上市に大学を設置することは、地域の発展において多岐にわたる効果が大きいと期待されます。 まず、大学設置により地域経済の活性化が見込まれます。学生や教職員の増加に伴い、飲食や小売、住宅市場などの消費活動が活発化し、地元経済の循環が促進されます。また、学生向けのビジネスや賃貸物件の需要増加が予想されるため、地元企業には新規ビジネスの機会が広がり、地域の雇用創出にもつながるでしょう。 次に、高度な人材の育成と確保という面でも重要な役割を果たします。例えば、工学や情報学といった先端分野の学部が設置されれば、最新の技術を学んだ人材が地元で育ち、地域の企業や自治体と連携して課題解決に貢献できるようになります。これにより、企業側も地元で優秀なデジタルの下駄を履いた人材を確保しやすくなり、メールとエクセルのパケツリレーなど世界から圧倒的遅れを取っている日本の経営から地元企業が脱却して競争力向上が期待されます。 また、地域医療・福祉への寄与も期待されます。福祉や医療分野の学部が設置されることで、地域の高齢化問題や医療サービスの充実が図れます。学生が地元の医療機関や福祉施設で実習やボランティア活動を行うことで、住民にとっても安心感が高まります。 さらに、文化・芸術活動の推進も大学の役割として考えられます。大学が主催する文化・芸術イベントや展示会、コンサートを通じて、地域住民が多様な芸術に触れる機会が増え、地域文化の発展に寄与します。学生の自主的な活動により、新たな文化拠点が形成され、若者や市民の交流の場として機能することも期待できます。 一方、地域の防災・環境問題への貢献も大きな意義があります。環境科学や防災を研究する学部があれば、地域の防災力や環境保護への意識が高まり、住民と大学が協力して問題解決に取り組むことができます。具体的には、環境保護活動や災害対策の強化、災害時の支援体制構築など、地域社会の安心安全に資する取り組みが進むでしょう。 また、教育と地域への新しい視点の提供も見逃せません。地元の小・中・高校と大学生の交流が促進されることで、地域の子どもたちが多様な学びに触れ、進学やキャリアについての視野を広げるきっかけとなります。大学生が教育支援ボランティアやキャリア教育プログラムに参加することで、地域の教育力向上にも寄与し、若者が地元に残る動機付けになるでしょう。 特に、スポーツ分野での連携は顕著です。中学の部活動の地域移行に際して、大学生がサポートすることで、地域の教育環境がさらに充実し、子どもたちが多様な体験を通じて成長する場が提供されます。私自身も大学生との協力により、北上市内でNPOを設立して地域の部活動支援に取り組んでおり、このような大学の存在が地域社会にもたらす価値を強く感じています。大学生が地域の課題に関わり、サブメジャープログラムとして単位取得できる仕組みがあれば、学生も積極的に地域貢献に参加することでしょう。 このように、北上市への大学設置は、地域経済の発展、高度人材の育成、医療・福祉の充実、文化・芸術の推進、防災・環境対策、教育の向上など、多方面にわたる効果をもたらす可能性があります。大学の存在が地域社会全体を活性化し、住民の生活の質を向上させることは大いに期待されるべきです。
大学設置と同時に、住宅等環境設備を考える必要と思う。
少子高齢化が進んでいる時代、若者が、この街に、住みたいと思える施策を、他の自治体より早く取組むことが、定着していくことに結んでいくのではと思います。
大学に行こうとする者は、有名大学に行き、メーカー等に入りたいと思ってるでしょう。 黒北の先生は、学校偏差値重視で進路指導するので、その大学には勤めないと思います。 黒工のプラス2年の現行を拡充するとかの方が、OBも多い黒工のネームバリューは高いはず。その方が逆に優秀な黒工生を地元に残せ、親御さんの負担も少ないはず。
人材確保が難しいと思うがスポーツ系（eスポーツなど）の大学なら流入に期待が持てて北上の人材育成や経済に良いと思う。工学は何処にでもあるのでわざわざ北上にはいらなないそれなら違う事に税金を使って欲しい。
新たに工学系の大学を設置した場合、どの程度のレベルの学生を想定しているのか不明である。伊藤彰さんが市長の時からコンピュータアカデミーとデジタルエンジニアリングセンターを統合して大学にする計画があったようだが、両方の施設とも地域社会に貢献しているようには思えない。私自身自動車メーカーで開発職に従事しているが新卒で開発職に入れるのは大学院卒の学生がほとんどである。果たして工学系の大学を設置してマッチする学生がいるのだろうか。岩手大学だけで良いのではないだろうか…これ以上富士大やコンピュータアカデミーのような低レベルの学校は必要ないのではないだろうか。
運営出来る保証はどこにある？調査に信憑性はあるのか？今まで、いろんな事で失敗してるからさあ。

大学設置に税金を使う余裕があるなら、子育て支援や不登校対策、就労支援、ゴミ袋の無料化など他に優先度が高いと思われる施策に使ってほしい。 また、まずは、岩手大学や一関高専などすでにある資源の活用を模索するべきである。 市立大学は不要であると考えてるので、設置ありきでの検討はしないでいただきたい。
将来キオクシアが経営破綻の予想もある。
少子化が進んでいる中多くの大学では定員確保に苦勞して撤退する大学も出て来ていると聞く。これから新しい大学を作っても知名度が無い為、従来形式の大学を作っても学生は集まらないと思う。やめたほうがいい。それより住みやすさに力を入れて人口増を目指す方がいいと思う。また働く場所があって暮らしやすい街なら一旦外に行った学生も戻って定住するのではないかな？
この計画は進めるべき。反対する人は何が問題なのかはっきりと言うべき。未来への投資と考えるべき。
以前から、良い大学があることによって街は活性すると思っていましたし、同意見の方も複数います。ただし、良い大学を作るにはとても大変だと思いますし、工学部とのことですが、これからの日本にとって必要な学問、技術を絞り込んで、なおかつレベルの高い大学を作ってほしいです。大学の仕組みは分かりませんが、マンモスではなく規模を小さくししっかり学べて行き届いた大学で、質の良い学校ならば、北上市という立地であれば充分成り立つのではないかな。妥協せず、本当に良い学校を作ってほしいです。ただ作るのであれば完全に無駄です。
具体的な情報が少ないため、人口減少や進学率等の一般的な指標でしか考えることができない。一般的な指標を見れば、「供給過多」の未来(現在)には難しい事業ではないかと思う。それでも設置するのであれば、選ばれる優位性を持った特色のある大学にすべきだと考える。基本構想に期待したい。
議会や周りの大人達の凝り固まった意見より現役世代の若者達の意見に耳を傾けて欲しい。 せっかく出ている大学設置の話し。 非常にいい事だと私は感じます。 若者への学びの場の提供。私は素晴らしいとおもいます。 理屈を捏ねて潰そうとする大人世代の話なんかどうでもいい。 子供達の為、子供達の未来や夢の為。 その為の大学を作って頂きたいし、大いに検討、討論して頂きたいと思います。
頭のいい子は 実績のない新しい大学来ないと思うし、来るのは有名大学滑った人達 てことは技術者の仮面を被った技能者レベルにしか育たない 市の財政から見栄を張って作らないでほしい。必要ない。もっと今北上市にもともと住んでいる人たちを豊かにする政策にしたら帰ってくる人増える。 小中学統合の中 大学設置なんて昭和な考えは断固反対ですね。 濃いミニマムシティが理想です。
子どもの出生数や減少割合をみて、現在ではなく 10 年後 20 年後 30 年後の入学者の確保見込みがあるのか、試算してほしい。建設や、大学を廃止することになった場合の建物の解体費なども試算してほしい。 建設費の予算がいくらで、その金額で他にどんなことができるのかも、検討してほしい。成績優秀者の返済がいらぬ奨学金（市内企業で働く条件付きなど）など、優秀な人材の流出を防ぐ方法は他にもあるはず。 高校生のアンケート結果によると、工業系を希望するのは約 20%で、その他に適性がある子や進学を希望する子が 80%もいる。それぞれが力を発揮し合って豊かな街づくりをする北上市ならば、財源があるのならば、大学設置以外の方法でよりローリスクハイリターンな一手が打てるのではないかな。
大学設置は北上市に限らず県全体に効果的であるはず。なのに何故北上市だけが資金を負担するのかをきちんと市民に説明する必要があると思います。

統合で廃校になった校舎等を、新大学構想には、再利用する事を考えて欲しい。 新たな建設で、景気回復よりも、北上市は新たな試み（他府県市町村の事例が沢山ある）が必要。 行政の企ては、過疎地域を拡大するだけです。今の在り方には、全く賛同できません。 廃校には、黒岩の木造校舎が有ります、そこを再利用する試みこそ、今後の北上市では有りませんか「新しくする」は、もう古いです。
大学設置は税金の無駄 北上市の人口に対して議員数が多い。無投票当選できるくらいの投票率であるのだから、市民が議員に期待していることは少ないし、市民数からしても議員の数が多すぎる。北上市議員数削減と一般市民平均年収と比較し高額な議員報酬削減も議題にあげてほしい。
何を目的としているのか、若者を誘致したいのであれば、他の方法があるのでは？ バスも少ない利便性も悪い。どこに建設するのですか？
具体的なコストが示されない限り、この提案の是非を判断することはできません 仮に市民の税負担がないなら、遊園地でさえ北上市の発展に必要な施設として評価されるでしょう
今現在少子化の問題もあり、学生数が限られる中でお金をかけて大学を設立する意味があるのかを検討してほしいと思っています。財政困難に陥るのであれば必要ないと思っています。
人口減少の中で、新規に大学を設置するのはリスクがあるような気がする。 岩手県には岩手大学の工学部があるので、まずは連携強化を図るなどの対策があるのではないかと思います。
高校までの教育費用（給食やら教材、補助教材など全て）を完全に無償化した上で、必要なら大学設置に手をかけるべきと考えます。
大学の設置目的は「教育」と「研究」である。教育(人材育成)目的の話が先攻しており、研究の話が全く出ていない。 研究費の獲得が困難になっている中で、新たに開学しても高度な研究が出来なければ教員にとっても魅力ある大学とは言えず、教員の質が期待できない。また、そのような環境では、教育の質も期待できない(いわゆるFラン化)。 どうしても大学が必要であれば、既存の岩手大学(工学)や岩手県立大学(ソフトウェア)、黒沢尻工業先攻科、一関工業高等専門学校などと提携して北上キャンパスを作ることで代用できないのか？ それより、市がすべきことは、(幼稚園・保育園)、小学校、中学校をよりよくして、子どもが北上で子どもを育てたいと思う環境を整えて、北上で子育てしたいと思う子どもを育てることだと思う。
北上市は工業の街である。それを確固たるものにするためには、今までは高校だけで充分だと思っていたが、専門分野を構築する大学も必要なのかもしれない。期待します。
市では、大学設置による経済効果があると思っていますが、極めて限定的です。 想定される学生数は、花巻市にある富士大の3分の1の規模です。 花巻市には、富士大がありますが、大学生が多いという感覚はほとんどありません。 さらに、その3分の1の規模になると、大学を設置しても、大学生が増えたという実感はほとんどないと思います。 また、大学を設置する場合、国際的に見て競争力のあるものを作る必要があります。 普通の工学部や理系の学部では、全く話になりません。 近隣でいうと、秋田の国際教養大学のような思い切った学部の設置が必要です。 国際的に競争力のある学部を作るにあたり、人気の教授を全国から引っ張ってくる必要がありますが、教授を引っ張ってくるノウハウやネットワークが市にあるとは思えません。 大学を作るのであれば、これらの解決方法を、市民に対し提示する義務があると考えます。
北上コンピューターアカデミー、富士大学があり、北上大学を設立は全くナンセンスだと思う。夜にしても、せめてミネルヴァ大学のように建物がない大学を目指すべき。こんな小さな大学では効率悪く、金の無駄遣いになる。大局的視点から見れば全くの無駄であり、少し企業誘致が上手く行き、奢ってるとしか思えない。 何を読んでも、どこを見ても、どんな現実を見ても、うまくいくとは思われない。 金の無駄遣いである事は、非を見るより明らかなだし、未来の市民からの怨嗟の声も免れ得ることはできない。

市内の企業経営者とかから意見の聞き取りとかはしているのか？広報を見る限りなのでわかりませんが、人材育成なのか経済効果なのか何がしたいのかわからないです。ブレブレすぎてレベルを疑います。 高校生のアンケートも「実績のない、1 学年 150 人くらいの大学設立を市では検討していますが進学したいと思いますか？」って現実的なアンケート取ってほしいくらい大雑把。 赤字度返しで世界基準（ノーベル賞の教授がいますとか）の人材育成に踏み切ります！でもない、この少子化の時代に特色のない大学経営は将来的に難しいと考えます。
小中学校も統合なってる中、自分の身体ほどあるランドセルを背負って新一年生が長い距離歩いて通学しなければならない現状なのに、市では市立大学作ります！は、市としてもっともっと根拠と姿勢を見せないと誰も理解されないと思います。だからお役所仕事と馬鹿にされるのだと思います。 私はこの北上でおそらく一生を過ごします。企業誘致もいいことだけではありません。裏にはそれで出てきてる課題もあります。もっと足元をみて動いていただきたいと思います。
工業単課なのであれば、子供達の選択肢が少なすぎる。そもそも働き方が多様になっている時代なので、モノづくり以外のキャリアパスも描けるようなカリキュラム、学部編成が必要なのではないか。
高等教育にお金や人材を費やすより、幼児児童の教育の質の向上にお金を使うべきです。幼少期の教育の向上によって、あらゆる年代を刺激することが可能です。未来を見る目があるなら、今は子どもにフォーカスするべきです。見通しの見えない時代に、大学設置するなど無謀です。教育に力を入れたいなら、小学校の教育を改善しましょう！
高卒後の 進路の選択数が増えるはず。 必ずや、大学を創設してほしい。
税金の無駄づかいをやめてください
必要ではあると思うがかなり魅力ある大学でなければただ机上の空論となる 例えば有名大学に編入、大学院への進学等のメリットがなければそれは難しいと思う。 専大北上や花巻東などと連携しての私立大学であれば可能性としてはあるかもしれない。 そのほかは可能性としてはスポーツに力をいれる施設と研究機関のある大学であれば可能性としてあるかと思います
若者に魅了のある街にしてほしい！
大学よりも、就職先がたくさんあり、全国の大学出身者が就職しに来て定住する街を目指してほしい。
地元で大学ができるかもしれないということが期待でもあり、不安もあるのが本音です。期待の面は経済や人口の増加、不安な面は少子化時代に大学を新しく作り、人を集めることができるのかという不安。自治体は難しい判断を迫られるのだと思います。だからこそ、こういった丁寧な議論が大事なのだと思いました。
いつまでも半導体頼みの財政に不安はないのか。産業を多面的にサポートし、バランスの取れた収支を目指すべき。

ただでさえ少子化で全国の既存大学の定員確保さえ難しいと言われる状況で、人口流出対策を狙った大学設置は安易すぎませんか？ どのような質の学生を期待するかによるでしょうが、相当クオリティの高い教育が確保できるならまだしも、滑り止め程度の存在にしかならないなら負の遺産でしかないのでは。また、優秀な学生を確保したとしても学生が優秀であればあるほど卒業生が北上に残る可能性は低い気がします。一時的に就職をしたとしても定住するでしょうか？ 大学のあるなしに関わらず、一度外で学んだ若者が活躍できる場をいかに提供するかは全県の課題です。議論し尽くされたはなしだと思いますが。北上にすでにある魅力をどう産業に結びつけるか、ということです。ハコを用意するのではなく、、、例えばまちぶんマルシェは有志によるイベントですが認知度も高く市内外から愛されていました。個人事業主や自営業が活躍できるまちを PR する絶好の場面なのに、市が応援する姿勢はほぼなかったと聞いています。私はまったく関係者ではありませんが、今あるモノを生かさずに新しいモノに目移りするそういうチグハグさが課題ではないでしょうか。すくなくとも、私は子どもたちに地元大学に入ってほしいとは思いません。
大学の場所にもよるし、大学ありきではない商店街の活性化やバイト先、交通災害抑止のインフラ整備など総合的な構想があってこそ大学設置に対するアンケートではないか 大学が出来たから街が良くなるとか絶対にない 現に富士大や県立大周辺を見たらわかる
なぜ、北上市に現在の案のような大学が必要か分からない。
大学設置維持に膨大な資金を使うより小学校や中学校をもっと快適にするべきです!大学設置するお金を使うなら小学校中学校への部活費用援助すべきではないでしょうか?中学校の吹奏楽では楽器も高価で修理しながら使っていますが昭和や平成初期のを使っていたりもします。大学は建てるだけではなく維持費もかかります。大学設置するなら小学校や中学校の為に使ってほしいです!折角北上学園があり、保育や福祉や自動車メカニックなどは成り手不足の業種ですから、折角の人材を北上に就職してもらえような仕組みに助成してほしいです。北上コンピューターアカデミーなどを生かしたり、黒工が県立であるのですから県と連携して黒工を一ノ関高専のような感じや寮などを整備して国立岩手大学や県立黒工と北上市が連携して今ある資源を有効に人材育成してはどうでしょうか?折角名門黒工があるのですから、黒工を卒業して黒工の隣地に岩手大学分校工学部とか、一ノ関高専みたいな仕組みの方が黒工に魅力を見いだしてくれたり、寮があれば一ノ関高専みたいに遠方からもか北上に流入し、北上の工業系の企業に就職などとなりませんか?新聞でも見ましたが国立大学も生徒集め今後もっと大変になると言われています。市立大学を作る位ならまだまだ身近な現在ある資源に予算をかけてほしいです。市立大学は建設維持に膨大な資金を投入するなら、小学校中学校を大事にしてください!工学部が必要なら黒工を高専のようにしたり岩手大学と連携して黒工を卒業後に編入できる岩手大学分校など誘致など黒工が高専のように魅力的な場所になれないものでしょうか?市立大学は必要ないので、もっと違う税金の使い方をしてほしいです!何度もいれますが、小学校や中学校の改修や備品や整備や部活補助など考えてほしいです!ご検討よろしくお願いたします。
これから、AI.ロボット化がますます進展してる中、今までのような人材(労働者)が不要な世の中になるのに、わざわざ今から大学を創るとは、世の中の逆を行ってますね… それに、若者の流出は必然です。岩手の賃金安いし、仕事の幅がない。そして、若い時は都会に憧れるものです。それでも、自分達が結婚、出産を考えた時に選ばれる市にする事の方が大学設置よりも 10 年 100 年後の街づくりや後世を考えた時に一番重要だと思う
少子化が進む中、ずば抜けた特色や魅力がある大学でない限り学生確保は困難であると思う。大学設立に使用する税金を、北上市に住む子供達に使用して頂きたいと強く思う。
既存の県内工学系大学との差別化はできるのでしょうか。地方大学の存続が厳しくなってきたており、しかも少子化の進行の勢いも増している中、地方小都市の公立大学設置での大きなアドバンテージは何でしょうか。
もし作るのであれば工科の単科大学では無く、グローバルで幅広い分野の学問、研究が出来、大学だが市民にも開放された施設にしてほしい。 今若い担い手が減少していて問題になっている、農業科に商品開発、生産物の活用たとえば調理科の併設や農家の経営が学べたり、と 折角北上に作るのなら、工業、農業と後は人の育成に関わる学部など。
高2の息子の母です。 やりたい事をするためには都会に出ないと行けなく、学費の他に生活費まで頑張れないと、やりたい気持ちを叶えてあげる事が出来ず、もどかしいです。 また都会の生活や給与を知ってしまったら、なかなか戻る気持ちにはなれないと思います。 家を離れなくても、やりたい事が出来、仕事が出来、北上に残る事が出来る環境を是非整えてあげて欲しいです。

1.収支見込の詳細な根拠が不明 2.優秀な講師、優秀な設備、優秀な環境が有って初めて優秀な学生が集まる、しかもある程度実績が付いてから、そのあたりを具体的に試算すべき 3.少なくとも今後自動車産業の形態は大きく変わる、次世代を担う産業は何を想定しているか、半導体も将来的に勝ち組になれるかは大いに疑問 4.上記の様な項目に関しエビデンスの有る、より具体的な検証と市民への提示が必要である
今後少子化が進む中、学生の確保で定員を充足するとは考えにくい。 県立大学がそうであるように、卒業生が市内に就職する割合は少ないと思われる。特に IT 系では東京近郊の採用意欲が旺盛で給与も高いため、そちらに流れると思われる。 工学系では数年ごとに機器のリプレイスが必要であるが、それが支出経費に正しく盛り込まれているとは考えにくい。
設置より有名大学の学部誘致がいいと思う、大学設置は不安要素多すぎる、白紙して再検討すべきと思う
この少子高齢化に大学を作るとは、ちょっと考えられない。税金の無駄遣いにならないよう、よく議論していただきたいです。同じ税金を使うなら、もっと小さな子の為の子育て支援に使っていただきたい。子育て支援を手厚くし、子育て世代が他の地域から移住する様な取り組みに。隣の市町に負けてますよ。
無駄なもの 1.北上市立大学 2.北上駅東口の、市民の訪れない北上市の施設 80 億の資金があるなら アニメスクールを造る アニメ作家を目指す若い人々を援助する 目標は 「アニメ聖地・北上」
①街中のにぎわいづくりが焦点になっており駅前立地で予算は 100 億？近く必要、②予算が問題となっているのに処置がない。私が知っているのは誤情報かもしれませんが、以上です。素人意見ですが、市民の意見は以下に集約されると思います。❶新規立地ではお金がかかり過ぎる。❷経営の見通しが立つ見込みがない。❸の処置市で補助し続けている元イトーヨーカドー利用とかどうなのでしょう？おでんせとの調整必要になりますが、100 億必要で市が 64 億負担にニコニコしてる市民なんて建設業界以外にいないと思います。ハコだけ作って赤字なんて周りを見ればいくらでもあります。①開学資金を抑制すること②引き返し可能な態勢も考慮して将来の市民のツケにしないこと③イトーヨーカドーは車社会の北上で駅前立地に理がないことから撤退した=現状さくらのもあることから駅前大型店舗は利用のアテがないことを考慮されてはいかがでしょう？(ちなみにイトーヨーカドーは一例で開学資金を抑えられる場所という意味です。)❷の処置①(主に北上の)企業の求める DX や研究を担当一例としてキオクシアの半導体等研究②(主に北上の)インターンシップを OJT の様な形で進める。③できないなら近畿大学の様に自ら特許とる。上記のような既存にはない(もしくは既存で先行的な成果を収める)大学の形であれば企業から研究費、もしくは準給料、国等から各種補助金を継続的に得られるようにならなければ維持の見込みがないと思われます。素人には分かりかねますが、①開業と維持の費用問題、②進展性の確保ができるなら進める。出来ないならしない(絶対にやる有りきではない)方向性で④数字で北上市民へのツケができないことをしめす。②企業と提携、国等と補助金に関する継続的な補助金調整が出来ていることを示す。ことでなら進めてもいいのではないのでしょうか？
どういう大学を設置するのか、どのように運営するのかが示されていない段階でのこのようなアンケートは、一般的な期待や不安が分かるだけではないでしょうか。行政の思いも、今ひとつ伝わってこないような気がするし、的外れなことをやっているようにも見える。まだまだ説明不足ではないか。私個人としては設置を望むが、まだ賛否を問える段階でないのではないかな。基本構想が示された後と、その構想をブラッシュアップした後で、同じアンケートをとって、その変化を分析して初めて意味があるように思いました。基本構想が示された後に、深い議論をし、様々な意見をもとに修正された改定・基本構想(?)が理解されたとき初めて、設置に意義があるのかわかるのではないのでしょうか。
岩手県を、代表する大学といえば国立岩手大学(総合大学的立ち位置、国立ブランド)、岩手県立大学(公立大で岩手大学落ちの地元生の県外流出を留める役割)、岩手医科大学(岩手県での医科歯科部門の先端大学)、盛岡大学(私学であるが、教員免許取得可により、学校現場への卒業生多数輩出)、富士大学(野球、ソフトボール、サッカーなど全国でも有数の成績を近年あげるスポーツ推進大学)などが挙げられるかと思いますが、新設から数年でこれら各校に劣らず、安定的な学生需要を得ることができる大学を本当に設置できていると思っておりますか？そんなことよりも、地方創生や雇用対策など他に考えなければならない問題は山積みではないのでしょうか。正直素人でも少し考えればわかることかと存じます。考えの甘さ、見通しの無さに残念でなりません。

花巻市に富士大学があるが、富士大学の実情を知ってから検討して欲しい。 バスや電車を使って若者が集まりやすい場所(商業施設や図書館、カフェなど)が圧倒的に少ないし何にせよアクセスが悪い。かえって治安が悪くなりそうな気もする。 地域との連携でインターンシップ制度で交流をすることが大学の単位として認められる仕組みを作るなどないと北上に残ろうと思わないと思う。 大学を作る前にもっと街を整備するべきだと思う。やることはもっと他にありと思うし公立大学は税金の無駄遣いだと思う。
ずっと市民から声が上がっていた大学設置をやっと検討して頂きまして。 ありがとうございます。
全国的に子供の数がどんどん少なくなるのに、大学を設置すると言う考えは全く理解できない。 大学設置は大反対である。
自分の子どもには、一度県外に出て学んでほしいと思っています。 地元から出たことがなく、狭い世界しか知らない大人になってほしくないからです。 高校時代からやりたいことが明確に決まっていて、専攻も定まり、その職業に就ける人はどれだけいるでしょうか。(広報掲載のアンケートも、進学希望分野は「わからない・決まっていない」という回答が圧倒的に多かったのではないですか?) 工学系の分野の産業が盛んだから工学系の大学、とは軽率すぎるのではないのでしょうか。 子どもが減っていくのが目に見えているなかで県内の高校生をターゲットにしては定員割れとなり存続が困難になると思います。 秋田の国際教養大学のように、全国から学生が集まるような特色や魅力のある大学をつくらないと難しいのではと思います。
ここにしか無い！という特色があれば学生の確保は十分可能だと思う。ぜひ、積極的に進めてほしい！
●そもそも大学は学問をして、学士修得する所だから、工学系総合大学ならまだしも、税金投入し単科大学というのは、学生の特権である学問の自由を最大限保証するには弱いと思う。 市の目標とする内容では、企業と連携した専門学校の方がより現実味がある。 ●北上市と北上市民の未来の暮らしに資する為の税金投入なら、まずは人文・社会学系で人を育てて欲しい。その先に工業都市北上が選ばれるなら素晴らしい ●北上はアクセスがいいので、北上に住むよりは、通学生が多数を占めると思う。 ●子どもの数が減る一方の中で、山形県では新設大学の学生が集まらない、千葉県では誘致した私立大から、市に移管したい旨打診されたが、公立大学化は難しいと結論づけた。釜石市でも専門学校の学生集めに困難している。 全体の大学の集約や再編がどういう方向に進み落ち着くのか、見極める必要がある。 今、性急に進めるべきではない。 ●同じくお金をかけるなら、保育・教育・子育ての環境等に投入し、外に出た時に、北上市という素晴らしい環境で育った！と誇りに思い言える人(北上市をPRできる)を育てて欲しい。 ●真冬でも乳幼児が伸び伸びと過ごせる施設と信頼できる職員の確保、部活の地域移化に伴う指導者の養成や施設使用料の無償化、小学校のクラブ活動の地域社会化等に大々的に税金を投入して欲しい。かけすぎることはないと思います。 未来の北上市を担う人材育成は乳幼児からです。子どもの力を侮らないで下さい。
どの地域でも、人口減少が懸念されている昨今ですが、大学設置は、色々な面で良い効果を及ぼしてくれると思います
場所の確保や教授や生徒の確保が大変だと思います 北上市にとってプラスになる面が考えられません
学校を活用した街づくりをしたいなら、三部制公立高校や今までにない教育理念を持つ学校など、社会の多様性に即した学校を望む。
盛岡に国公立、私大、矢巾と花巻に私大、一関には高専と結構学ぶ場がある 北上市では大学よりも暮らしの安定とか別な施策を行うべき
地元企業と大学が協力して技術や専門職に卒業しても生かせれ場所があるようにしてほしいです。
企業が求める人材を育てるだけでなく、広く北上や日本の未来を支える若者を育てることを目指して欲しい。また、将来的には、退職者などの学び直しにも対応できるものも検討して欲しい。

大学生はどちらから募集するのか、卒業後北上市に残るとは限らないので、そう思えば特に大学設置の効果は期待できない。
大学設置をするのであれば、近隣にある大学と重複しない学科が望ましいと思う。 質の高さや専門性に魅力ある学校でなければ学生は集まらないと思う。少子化の今、レベルの低い大学では作る意味がない。 県外から募りたいのであれば、卒業後に北上に住みたいと思う街にしなければならないと思う。市内の若者から積極的に意見を聞いたほうが良い。 大学設置を計画するのであれば魅力ある街であるかも大切ではないか。
教員の質にもよるところがあるのかなと思うので、良い人材の確保が必要と思う。
資料の広報を拝見しましたら、メリットばかりの掲載で、デメリットに関してはほとんど書かれていません。メリットデメリット両方を提示しないとより良いアンケート集計にはつながらないと思います。 大学を設置するとしても、企業が求める人材育成を大学側がカリキュラムとして取り組んで、即戦力になる人材づくりが必要かと思います。 机上の空論の生徒ばかり排出しては意味がないと思うので、利益を生み出す人材育成を求めます。
岩大工学部の北上キャンパス設置の方がより現実的と思う。 学生アンケートでは、工学系と人文学系の間に有意差はないように思われる。教育、保育の希望もある。専北の専門学校が大学化できれば良い。 教授はじめ、教職員の人数はどれくらいか？どれくらいの報酬を支払う教授陣か？そこを考えると人件費等の予算の見積もりが甘すぎるという意見がある。（東京で説明を聞いたという方から）
黒工ではダメなのか？ 子供の人数が少ない。
・設置費用を市の他事業に使ってほしい。 ・費用対効果があると思わない。定員割れした場合の想定、本当に学生が集まるのか。
将来的に運営上、金銭的な問題から市民への税負担増が容易に想像できる。 指定ゴミ袋の金額に代表される様に ただでさえ市民の負担が他の市町村と比較すると多い印象があり、まずは現状の市民サービス等の見直しや改善を優先すべきと感じます。
問7で経済的波及効果について問うておるが、これだけ誘致企業が立地しても市民の固定資産税軽減等効果が現れているとは感じられない。大学についても同様ではないかを感じる。 貴重な税金は農業・農政対策や困窮者救済に使って下さい。 また、小学校の水洗トイレ化やエアコン等の設置等を優先して下さい。
キオクシアや工業団地が多い中で工学大学は理想だが、自分自身も専門の学校にいたからと言って就職する率は低いと思われる。 男女共に通いやすい大学の方がと思う部分もある。 （福祉、看護 関係）
現段階で具体的なバックデータに基づく内容が提示されているとは思われない。 多分できて、先端技術を要するとは思われない。 これからの急激な人口減少社会に向かい当市の将来ビジョンが担保できますか？
「ILC」の立地が実現するような事になれば…。 その効果は「大」の一言になると思いますが、北上の農業が少しずつ後退していくのでないかと考えます。
・市立大学は万難を排し、必ず開学すべきである。 ・北上市の未来にとって大きな一歩となる。 ・有能なスタッフを集めること。とりわけ事務方に大学運営のプロを3人は配置すべきである。 ・「学生募集」「入試の形態」はやり方次第で何とでもなります。 ・上記をうまくやれば、学生がどっと志願します。

男性だけでなく、女性も入学希望者が多くなるようなキャンパスにする。 既存の古いやり方ではなく、革新的で斬新な大学にする。 市の財政に過度の負担にならないようにする。
専門の教授、講師を依頼するのが大変。 工学部はお金がかかる。 女性の流出を減少させる、就職先企業の協力が必要。
まずは財源のこと、そして人口のこと。 黒工の専攻科の充実（生徒の生活基盤の整備等含む）、コンピュータアカデミーの充実等やるべきことをやった上でなら理解するが、まずあるべき施設等の見直し、充実を図るべきだと思う。 他のことをお願いすると「お金がない、予算がない」というばかりなのに、これには予算がつくのは納得がいかない。補助金をあてにしているようですが、そこに行きつくまでは自腹ですよね。市民の声を聞くというけれど、聞くばかりでなく、反映してほしい。
少子化がさらに進むとわかっているのに大学は、必要無いと思います！
若い世代に活気が出る事はよいことです。北上市が産業が活発になり物作りの都市になるためにも人材育成は大事だと思います。また他県からの交流も活発になると思います。 卒業後の就職も心配なく生活できるようにしてトータルサポートして欲しいです。
少しでも希望が持てるのであれば挑戦しても良いのかなと思います？
せっかくなら女子や文系人にも入学してほしいと思います。 それから卒業生に北上に就職してもらえるように大学側で頑張る覚悟で始めてほしいと思います。 設置学部については、工学部のみだと女子や文系人は来れないのと、北上市立大を他人事に思う高校生も多いと思います。ではほかに何の学部がいいかといえば文系や女子に人気でも文学・外国語系の学部ではなくて医療系、介護系、看護系の学部であれば北上にも就職先が充実していてよさそうに思います。法・経・営系学部であれば卒業生は公的機関や企業にとって間違いなく大切な存在となるはずですが、北上に大卒採用の就職先はあまりないように見えるので心配です。都合で設置は工学部に限るとなっても、就職先は北上を選んでもらえる方を目指してほしいです。 公立入学ということで市外県外から優秀な学生が集まる大学になるのだと思います。どの学部が開かれることになっても大学側でかなりの工夫・努力をしないと北上への就職については他の地方都市などを選ばれてしまう立ち位置だと思います。大手企業の支社支店が見受けられる街でもないからです。そういうわけで、やるからには卒業生に北上に就職してもらえるように大学側で工夫・努力する覚悟で始めてほしいと思います。 すぐに見えやすい街の活気については、マンモス大学でもないのだから今ある複数の高校の生徒達が街を明るくしてくれている光景とあまり変わらないだろうと思いました。また学生が集まるかについては、公立大はこの先景気が悪くても子供が少なくとも受験生を集めることに苦労はしないと予想します。
少子高齢化の時代、とりわけ出生数の減少と市内の児童生徒が減っている現状から大学設置、どう考えたらよいか分からない。説明会で聞く限り、メリットは理解できた（？）がデメリットが見えなかった気がする。県内に岩大工学部、一関高専、近県にも工学系の大学があるが、互いに引っ張り合いを心配する。※岩手日報（11月？日）にやや具体的な意見が載っていたが個人的には大いに参考になった。
隣の花巻市富士大学と提携して人材確保などでできればよいのではないかと思います。
『ないより、あった方が良い』との考えで賛成の立場を取る方が多いことが見込まれるが、大学特に工学系の場合、初期投資で整備する施設、設備は、技術革新や産業構造変化に従い、ほんの数年で陳腐化してしまい、追加投資が不可欠となる。 市の説明は、『初期投資は持ち出しなし』とのことながら、この追加投資に触れないのは無責任の極みではないか。 もし、追加投資をしないつもりですあれば、陳腐化した設備を使った教育プログラムに、何の魅力があり、学生はもちろん、教授陣の確保もままならない状況に陥るのは、火を見るよりも明らか。 富士大学の学部再編・強化など、周辺の環境変化にも目配せせずに、何とかの一つ覚えで『北上市？ものづくりのまち？工業系大学』とは、あまりにも思慮の浅さの極み。 『将来を担う世代の定住、定着』との妄想的アピールはなお背筋が寒くなるだけで、『将来を担う世代に取り返しにつかない大荷物を残す』のが明白であるため、即刻、妄想（構想と呼んでいるようですが）を取り消すべき。

この年代になると、未来より現実の暮らしが大事 福祉の充実に力（金）を入れて欲しい！！
大学を設置するには莫大な資金が必要。学部が限定されている小さな大学へ進学したい子、進学させたい親がそんなにいないと思えない。ましてや少子化でそのうち入学者がいなくなるのが目に見える。 その資金を小中学校への資金にまわしてほしい。 絶対に反対です。
・北上市周辺のほとんどの企業は北上市に、高度人材育成大学を期待していない。 ・どのレベルの大学を設置するのか不明であるが、人材育成がそれほど必要と判断するのであれば、岩手大学や県立大学の入学枠を増やすことで可能であると思える。（岩手大学や県立大学に入学出来ないのであれば高度人材育成は期待できない） ・半導体企業で人材育成する事も可能である。トヨタは豊田工業大学や、トヨタ学園を設立した。 ・北上市に進出する私立大学はないのか。大学も経営である。北上市レベルの行政が手を出すべきでない。民間にまかせる事でも良い。 ・北上市が大学設置計画を進める本心がわからない。何か裏があると思える。（言えない何かがあると思える）
学生が多い街は飲食店などの人手不足の解消にもつながり、街の活力に大いに貢献します。 また、子供の大学進学による人口流出の一助になれば、なお良い効果があると思います！
工業に特化した内容で進めているが、もうすこし視野をひろげて考えたり、人口に合わせた考え方をした方が良いと思う。
・自然も多いので、体育関係も良いと思います。 ・若者や子供が遊べる施設を作る。
他地区の設置状況等を見ても国公立大学でさえ募集人員割れのようなので、中々難しいと思う。
北上コンピュータ・アカデミーなどは定員になっているのでしょうか。 比較対象にならないかもしれませんが、参考として応募状況（他県・他市町村からどれ位あるのかなど）などがわかるデータがあれば判断する場合いいのではないかと。
①採算がとれる定員・施設・規模が重要な課題。 ②岩手県南工業都市としての工場設置に伴う工業分野の必要性重視。 ③企業が必要とする大学生の専攻分野 ④県南地域から宮城県北部一帯に理工学系大学の必要性。 ⑤一関高等専門学校（既存）、県立黒沢尻工業の専攻科の時代は大学誘致を拡大する時代の必要性大と判断。
・学費を安価にし多くの若者が集め、町中をにぎわいをはかって、若者を都会へ流出をいくらかでもおさえる取組を期待する。
設置するのであれば、世界的な技術水準を維持できる唯一無二の大学であるべき。 当市はそのレベルは考えていないと思うので、工業系大学は不要。 アニメ専門学校で世界に発信する技術、能力を育成した方が北上市のためになるのではないかと？
少子高齢化社会がますます進行し、日本全体において年間の出生数が70万人を割る状況にきています。このような状況において生徒の募集が難しくなると予想され、将来的に現在の大学数の減少、定員の削減が考えられます。一時的な補助金による大学を設置し年間の維持管理費用及び費用対効果を考慮し50年、100年先を思慮すると9万人規模の市としてリスクが過大過ぎると思います。卒業時に給与の高い都会のほうに就職する風潮があります。 県南地区の工業団地の市町による要望として、既存の岩手大学、県立大学による半導体関連学部の充実、募集人数増により対応したほうが現実的と考慮します。 市として幼稚園、保育園の民営化、市民登録課の窓口業務委託、各種証明書のコンビニ対応等改革を行っていますが、公共施設の更新及び耐震改修対応、上下水道の管路の更新費用にかなりの増高が見込まれます。大学に予算を使うより市民生活に寄り添う対応が望まれていると思います。

学生が確保できない又は経営が行きづまったとき、設置を強く望んだ方々はどのように責任をとるのか。 市民へ経営的ツケがまわらない保証があるのであれば設置に賛成します。
校舎の設置場所が重要と思う。生徒が通学の負担にならないように。
学生の確保が可能かどうか。それによって経済効果の読みが左右される。県内のみならず、県外へのPRが必要。そのPR方法も行政的な堅苦しい内容ではなく、かなり思い切った斬新な内容・イメージにしないと、学生を引き付けられないと思う。
市立大学を設置する予算があるなら、市立体育館の整備を進めてほしい。天井から結露は落ちてくるは、雨もりもします。
人口減少により先が見えない状況下で、市民サービスが充分とはいえない北上市が、財政的な大きなリスクを負って市立大学を設置しなければならない理由が全く理解できない。目的が市民の人材育成と高学歴化併せて産業を牽引する人材の育成として、市民のための大学設置で財政負担するのであればまだ理解できる。若年層の流出抑制・まちの賑わい創出などまちづくりの様々な側面から、又、一部企業を見込んだ大学設置検討は問題外である。市民への説明は、未実施に等しい。市議会は、慎重の上にも慎重に行動いただきたい。
市は本来のやるべき業務に専念、若年層の流出に努力願う。
財政的見通しがあまい。 国からの補助金は減少傾向にある。 学生数の確保も困難。
詩歌の森に作って欲しい
何事も前向きにやった方がいいと思います。
他学校も学生の確保が課題になっているなかで新設するのは難しいのではないか。
地区内で素晴らしい作品があり良かった。
次の世代に負の遺産は残せない。大学を作るより先にやらなければならないことは沢山ある。これがあるから北上に住みたいと思わせるような事、物にお金を使って欲しい。
・政府は年収の壁見直しを名言しており、その事による地方財政への影響が懸念されている。 ・北上市の固定資産税算出ミスによる市民への還付金9億円弱の還付による市の財政への影響はどうなっているのか。（※この責任はどうなっているのか。告発者の人権は守られているのか？） ・北上市のゴミ回収袋の値段が高すぎるのではとの指摘がされている。税収に余裕があるのであれば無料にするべきではないか。大学設置には多額の市税が投入される訳で、これら収支の今後の財政への影響について明確なシュミレーションが必要で、それについて市民へのしっかりした説明が必要である。
少子化の時代に大学の運営、存続を心配する。 建物はできても…とならないように願いたい。 やるなら早く！！ 孫達の時代が生き生きして将来像が描けるようであればと期待する。
周辺市町村とも協力して（設置に向けて）運動してほしい。
岩手県内に今以上の大学は必要ないと思っています。 岩手大学、県立大学があることですから、学生数は減る一方でしょう。
少子高齢化が進む中で、将来駅に100人以上の入学者を確保できるのか不安。 103万円の壁を上げるため、地方公共団体の税収が減少すると言われている中で、将来的な市の財政基盤は大丈夫か。 現行の岩手大学工学部、県立産技短、一関高専、コンピュータアカデミーと連携した人材確保を検討すべき。

費用対効果が示されていない現状では？
閉校となる東陵中学校舎を利用すれば、経費削減。 立花地区の活性化につながるのではないかな。
時代遅れです。
大学設置はとても魅力的な話題。賑わいのある北上市を想像したいのですが、国の補助金がなくなれば市民が苦しむのが目に見えそうです。 工学系は岩手大学があります。 北上市の将来をよく考えて進めて欲しいです。
北上市には工業関係の誘致企業が多い。また、地元にも多い。よって、大学の設置は当然重要かつ必要です。ぜひお願いしたい。
時代錯誤もはなはだしい。
維持費（人件費、最新装置）はどうか。 他の大学等も工夫してきている。
工学系の大学設置は、北上市の活性化に必要と思います。 しかし、学生や大学関係者を集めるのは少子化が進む中大変だと思います。 それでも、何もしなければ若者流出が止まらないと考えます。
大学設置になれば良いと思うが、学生確保が難しいのでは？！ 最初は良いかもしれないが、長期的に見て実績が伴わないとキビシイのでは？ 学生のバイト先なども少ない気がします。
学生の確保は、質を重視しなければある程度可能かも。 中央教育審議会の大学分科会に高等教育のあり方の諮問に対し、年度内に答申を行う予定。これによると再編、統合、縮小、撤退による規模適性が不可避とされている。当市に大学を設置し、カマドをかえた時の市民に対するリスクマネジメントが全く見えない。
福祉事業等の助成金が現在より減額にならないように期待する。 また、小中高校生の学費の無償も考えるべき。 人口増を期待する。
・子どもの人口が減っている ・地元の黒工は毎年極端に定員割れをしている ・そもそも県内の高校も統合など減っている ・日本全体の18歳以上の大学進学率が50%位しかない ・黒工の進学率は就職率に比べ低いと思う 上記の理由から今から市立大学をつくる意味が分からない。若者の流出は北上市辞退の魅力がないと無理だと思う。市役所の皆さんは市立大学賛成100%なのか気になります。 黒工に力を入れるとかの方が現実的。そもそも黒北生がディベートしてたけど、黒北生って工業大学への進学率高いの？黒工生に意見を求めては。あとは、盛工など。 つくりたい！という強い想いだけではどうにもならないだろうと思う。
つまらないから北上から出たい。 北上市の企業と連携して優秀な技術者をつくるとかに全振りなら大学設置は良いと思う。 中途半端な大学を作るくらいなら黒工にもっと力を入れれば良いのでは… 大学設置→学生は車必須となる（良くも悪くもある） ※現役理工系大学生の声です。

〔北上市議会広報委員会〕



北上市立大学設置の検討に関するアンケート

アンケートへのご協力をお願いいたします

北上市では、地域産業をけん引する人材の育成・確保や若年層の流出抑制、まちのにぎわい創出など、まちづくりのさまざまな側面から市内への大学設置を検討しています（詳細は別紙「広報きたかみ令和6年5月号掲載記事」をご覧ください）。

北上市議会広報委員会では、これまでの市からの説明や議会での質疑、市民の皆様からの意見等を踏まえ、「北上市議会だより」への特集記事の掲載を考えておりますので、次のアンケートにご協力をお願いいたします。

可能な方は、右のQRコードをスマホ等で読み取っていただき、ご回答をお願いします。それ以外の方は、下記に記入をお願いします。



←アンケート回答フォーム
（QRコードを読み取って回答する方は11/29（金）までをお願いします。）

次の各項目について、あてはまるもの1つを○で囲んでください。

1 年代。

- 1) 20歳未満 2) 20代 3) 30代 4) 40代 5) 50代
6) 60代 7) 70代 8) 80歳代以上 9) 回答しない

2 お住まいの地区。

- 1) 黒北地区 2) 黒東地区 3) 黒西地区 4) 立花地区 5) 飯豊地区
6) 二子地区 7) 更木地区 8) 黒岩地区 9) 口内地区 10) 稲瀬地区
11) 相去地区 12) 鬼柳地区 13) 江釣子地区 14) 和賀地区 15) 岩崎地区
16) 藤根地区 17) 市外 18) 回答しない

3 当市に大学を設置する場合、高度人材育成及び確保への効果は期待できると思いますか。

- 1) 大いに期待できる。
2) 少し期待できる。
3) あまり期待できない。
4) 全く期待できない。
5) わからない。
6) その他 []

4 当市に大学を設置する場合、若年層の市外への流出抑制及び市内への流入増加は期待できると思いますか。

- 1) 大いに期待できる。
2) 少し期待できる。
3) あまり期待できない。
4) 全く期待できない。
5) わからない。
6) その他 []

5 当市に大学を設置する場合、市では工学系の分野を検討していますが、どのように思いますか。

- 1) 工学系が良い。
2) どちらかといえば工学系が良い。
3) 他の分野が良い。
4) わからない。
5) その他 []

6 当市に大学を設置する場合、学生の確保は可能であると思いますか。

- 1) 十分に可能であると思う。
- 2) おそらく可能であると思う。
- 3) おそらく難しいと思う。
- 4) 不可能であると思う。
- 5) わからない。
- 6) その他 [

]

7 大学設置による経済的波及効果は期待できると思いますか。

- 1) 大いに期待できる。
- 2) 少し期待できる。
- 3) あまり期待できない。
- 4) 全く期待できない。
- 5) わからない。
- 6) その他 [

]

8 北上市への大学設置は必要であると思いますか。

- 1) 絶対に必要であると思う。
- 2) どちらかといえば必要であると思う。
- 3) あまり必要ないと思う。
- 4) 必要ないと思う。
- 5) わからない。
- 6) その他 [

]

9 自由記載

ご意見等あれば、ご自由にお書きください。

☐

←自由記載について、議会だよりや SNS 等への掲載を希望しない方は☑を記入してください。

ご協力ありがとうございました。

いただいた回答は集計の上、議会だより等に掲載する場合がありますのでご了承ください。

04 実現性 学生は十分確保可能

当市に公立大学を設置した場合の志願者数をアンケート結果から試算しました。

県内の高校からの進学希望者は、76～135人程度確保できると考察できます。大学の運営費を工学系の単科大学（一つの学部のみ）で試算すると、入学定員を80人以上とした場合、採算がとれると見込めます（表1）。また、当市が大学を建設した場合の費用は、定員規模を入学定員60～120人（全体の定員320～480人）と想定すると、約77～99億円と見込めます。

健全な大学運営のためには「採算がとれる定員・施設規模」が重要な要素の一つです。運営費の試算結果から、市の税金などからの持ち出しなく大学運営を成立させるための入学定員は80～120人が必要です。

運営に必要な入学者数の確保見込みは高く、安定した大学運営は十分可能であると考えられます。

■入学定員規模別の収支の見込み（表1） 単位：百万円

定員 (人)	開学年度					8年度
	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
60	234	353	451	505	505	505
	234	436	565	596	596	596
	-90	-83	-114	-93	-93	-93
	-90	-173	-287	-380	-380	-750
80	311	471	601	673	673	673
	309	475	628	672	672	672
	-2	-4	-27	-2	-2	-2
	-2	-2	-29	-26	-26	-19
100	389	589	752	842	842	842
	352	540	729	784	784	784
	37	48	23	58	58	58
	37	86	108	166	166	398
120	467	706	902	1010	1010	1010
	406	633	857	922	922	922
	61	73	45	88	88	88
	61	134	179	267	267	618

※諸数調整のため一部数値が一致しません。

▼本調査結果を受けての今後の展望
今回の調査結果から大学の設置は当市の課題解決などに有効な手段と考えられます。もちろん、この結果だけで大学設置の方針を決定するものではありません。
本年度は、今回の調査結果を基にさらに次の段階に進み、大学を設置するとしたら具体的にどんな姿になるのか、といった基本構想をまとめていきます。「大学のあるまち 北上市」を展望しつつ、国などの動向も踏まえ、設置の可否をその都度見極めていきます。

03 方向性 工学系、公立大、まちなかが望まれる

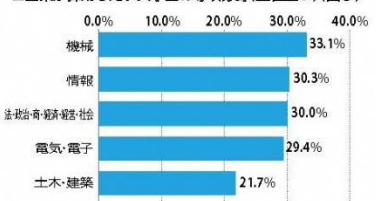
高校生の進学希望者が最も多い分野は「工学」（図4）であり、ものづくりが盛んな当市の産業構造とも合致しています。実際、多くの企業が機械工学や情報工学といった分野を学んだ人材を求めています（図5）。

また、高校生の76.0%が経済的な負担が少ない形での国公立大学への進学を希望しており、通いたいと思う大学のキャンパスのイメージとしては、81.0%がまちなかのキャンパスと回答しました。

■進学を希望する分野（上位五つ）（図4）



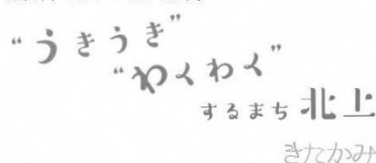
■企業が採用したい大学生の専攻分野（上位五つ）（図5）



05 効果 100億円を超える経済波及効果

大学設置がもたらす経済波及効果は、大学の教育・研究活動、教職員・学生の生活による消費、大学施設の建設・維持管理による効果など、開学後8年間で136～193億円が見込めます。

そのほか、雇用創出や学生の地域への定着、地域の魅力向上などにつながります。



01 必要性 人づくり×まちづくり＝価値づくり

【高度人材の育成と確保】

次世代のものづくりを見据えた専門性の高い人材の育成と確保が課題であり、地域企業からも大卒人材や工学系の人材を求める声が多くあります。市が課題解決に直結する大学を設置することで、「地域の未来に必要な人材」の育成・輩出が可能になります。

【若年層の流出抑制と流入増加】

地元への進学先ができることにより、当市からの若年層の流出抑制が見込めます。また、県南地域や宮城県北地域は理工系大学が少ないため、市・県内外からの進学者を呼び込むことが期待できます。

【まちなかにぎわい創出】

若者や研究者が集まることで、まちなかにぎわいを創出できます。また、新たなサービスが生まれ、商業などさまざまな施設が市内に進出する可能性もあります。

02 ニーズ 高校生や企業は大学設置に前向き

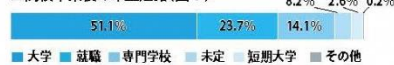
大学が当市にとって重要であるといっても、高校生の進学希望や卒業後の就職先になるであろう地域企業が大卒人材を必要としているかの調査が不可欠です。

そこで、県内の高校2年生約1万人と県南地域の企業1,000社を対象にアンケート調査を実施しました。

回答した高校生の半数以上が、卒業後の進路として四年制大学への進学を希望しています（図1）。

また、進学を希望する学部などを有する大学が当市に設置された場合、その大学への進学を希望するか尋ねたところ、約6割が市内の新設大学を進学先として前向きに考えています（図2）。

■高校卒業後の希望進路（図1）



■市内の新設大学への進路希望（図2）



高校生の進路希望や企業の人材需要などを伺いました
北上市大学設置基本調査結果

当市では、令和3年度の庁内研究を皮切りに、地域産業をけん引する人材の育成・確保や若年層の流出抑制、まちなかにぎわい創出など、まちづくりのさまざまな側面から市内への大学設置を検討しています。5年度は民間の調査会社に委託し、高校生の進路希望や

企業の人材需要など基本構想の基となる大学設置に関する基本調査を行いました。この度その結果がまとまりましたので、お知らせします。

■問い合わせ：政策企画課 72-18229

企業アンケートでは、回答した企業の74.3%が、将来必要とする人材として大学卒を挙げており、55.0%が大学新卒者の採用を強化したいと考えています（図3）。

■今後の大学新卒者の採用意欲（図3）



このように、高校生は大学設置を好意的に捉えており、企業も大学卒業生の採用意欲が高いことがうかがえます。

県内には六つの大学がありますが、全国的にみて人口比の入学定員が少なく、5年度の大学収容率（※）は22.9%で全国41位、北東北3県でも最下位という状況です。

さらに、県南地域から宮城県北地域一帯は一つの都道府県に相当する広さにもかかわらず、理工学を学ぶことができる大学がありません。そのため、市・県内外からの進学者を呼び込む可能性は十分にあると考えられます。これらのことから、大学の入学定員が少ないこの地域での新たな大学設置は進学先、受け皿として大きな可能性を秘めていると言えます。

*都道府県ごとに、18歳人口に対して地元の大学入学率がどの程度あるかを測るもの。